



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療
患者の人権と意思を尊重します

診療3本柱
がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療
地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア
地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献
災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成
地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

第33回 JCHO 人吉医療センター研究発表会 開催

令和4年12月6日(火)に第33回 JCHO人吉医療センター研究発表会が開催されました。今回は医師1名、歯科医師1名、看護師1名、診療放射線技師1名、管理栄養士1名、理学療法士1名、臨床検査技師1名、薬剤師1名という幅広い職種から計8題の発表がありました。今回も当院の3階講堂とWebでの開催となり、私も演者の一人として『サクビトリルバルサルタンという薬剤の腎機能へ与える影響について』を発表させていただきました。

今回の演題の中では高齢者やサルコペニアに着目した発表が多かったのですが、私自身初めて聞くような用語や検査方法などが多くあり、特に栄養評価、筋肉量評価については自分の研究分野に関わるところでもあるので、非常に興味深く聴講させていただきました。

今回院内発表会に参加し、職種の垣根をこえた発表会だからこそ知ることができた内容もあり、様々な発表を聞くことで今後の自分の研究や業務への刺激になりました。今後は、私も誰かにとっての刺激や気づきになるような発表ができるよう、精進していきたいと思います。

薬剤部 村上 鞠奈



第33回 JCHO 人吉医療センター研究発表会プログラム

No	演題名	演者
1	栄養状態評価を用いた多職種連携による周術期管理の取り組み	藏重 淳二
2	当院におけるCT法でのサルコペニア診断指標の検討	中尾 健人
3	サルコペニアと大腸がん手術のパス期間逸脱の関連性 In body測定のSMI(骨格筋指数)判定を用いて	岩崎 和弘
4	外科予定手術患者に対するGLIM criteriaを用いた栄養評価の実践 ～術前の筋肉量は術後食事摂取量に影響するか～	中村 利枝
5	サクビトリルバルサルタン導入による腎機能への影響	村上 鞠奈
6	医療安全に取り組み続ける臨床検査部からの報告 ：未然に防ぐ意識改革のために摂食嚥下、始めました	木下 まり
7	摂食嚥下、始めました	石神 哲郎
8	～JCHO学会 R4年度職場チームによる業務改善の取り組み 優秀賞受賞演題～ 排尿自立支援チーム介入による下部尿路機能障害改善への取り組み	今田 泉

多職種連携 頑張ってます！

当院では手術前後におけるがん患者の栄養状態やサルコペニア（筋肉量減少）について、多角的な評価や支援を多職種で連携しながら取り組んでいます。

今回、第33回JCHO人吉医療センター研究発表会において、8題中4題、本取り組みに関する研究、及び発表がありましたので、各職種の取り組みについて紹介します。

がん患者さんのサルコペニアをどう防ぐか

加齢に伴い、体組成の状態は変化し、進行性、全身性に骨格筋量が低下した状態を「サルコペニア」といい、特に、がん患者においては、蛋白異化亢進、代謝変動や食事摂取不良による低栄養が重なりサルコペニアに陥りやすいと考えられています。当院では、がん患者に対して、2020年2月より多職種で連携して術前、周術期、術後の筋量や栄養状態のデータ集積や解析を行っています。

その結果、当院で、手術をうける消化器がんの患者の約40%がサルコペニアであること、また術前にサルコペニアでなかった患者のうち約30%が、術後医原性サルコペニア状態に陥ることが分かりました。特に、合併症を起こした患者では、医原性サルコペニアになる可能性が高く、術後の栄養介入、リハビリテーションの強化が必要と考えています。また、術前サルコペニアの患者に対しての術前栄養＋リハビリテーションプログラムにつきまして現在検討中です。

外科 蔵重 淳二

サルコペニア（筋肉量減少）と大腸がん手術のパス期間逸脱の関連性

【目的】大腸癌手術前サルコペニアの有無が、パス期間内での退院に影響を及ぼしているかを調査し、術前理学療法介入の必要性を検討しました。

【方法】大腸癌予定手術患者対象として、年齢、性別、パス逸脱の有無、在院日数、パス逸脱日数を調査し、サルコペニアの有無で2群比較を行いました。

【結果】サルコペニアの有無で、パス逸脱の有無、在院日数、パス逸脱日数で差はありませんでした。差がみられたのは、女性で男性よりサルコペニアが多かった一方で、女性でパス期間内により早く退院できていました。

【考察】サルコペニアは大腸癌手術のパス逸脱の要因でありませんでした。性別でパス逸脱日数の違いは、身体構造の違いが差を生んだと考えます。手術前の理学療法介入としては、筋肉量向上するような強度のある運動より、術後の離床がより進むような体操や持久性の向上するような低負荷筋力運動、ウォーキング、呼吸訓練を推奨したいです。

リハビリテーションセンター PT 岩崎 和弘

外科予定手術患者に対する GLIM criteria を用いた栄養評価の実際

～術前の筋肉量は術後食事摂取量に影響するか～

【目的】予定消化器がん切除手術患者を対象に、術前栄養評価を2018年より開始してきました。従来 MUST、CONUT、PNI といった栄養評価方法を用いて術前栄養評価を行っていましたが、2018年に発表された筋肉量を用いて行う低栄養の診断基準 GLIM criteria による術前栄養評価を行い、従来の栄養評価方法の中でも簡便で汎用性の高い PNI と比較し周術期のリスク評価因子として有用であるか検討しました。

【結果】分析対象患者数は108名。平均年齢 71.7 ± 10.1 歳。男女比は 60/48（名）。術前低栄養と判断されたものは GLIM criteria によるものが 26 名、PNI15 名でした。胃切除患者において、GLIM 低栄養の有無による栄養充足率（57.99% / 67.71%、 $P=0.42$ ）に差はありませんでしたが、絶食期間（5.22 日 / 3.33 日、 $P=0.001$ ）が有意に GLIM 低栄養患者で長い結果でした。

【考察・結語】筋肉量を用いて行う GLIM criteria での栄養評価は、術後の食事摂取量（栄養充足率）に影響しませんが、従来の栄養評価よりも多くの低栄養患者の抽出が出来、効果的な栄養士介入に繋げていけるスクリーニングになると考えます。よりよい医療ケアが行えるよう栄養で周術期の患者様をサポートしていきます。

栄養管理室 管理栄養士 中村 利枝

当院における CT 法でのサルコペニア診断指標の検討

【目的】CT を用いたサルコペニア診断は、病気診断・経過観察時に必要な画像で測定できる利点がありますが、InBody と比較すると未だ確定した測定法とは云えません。CT を用いた様々な測定値と InBody の測定値との相関を調べ、診断に有意であるかを検討しました。

【方法】141 名を研究対象としました。CT 画像より腰椎 L3/4 レベル大腰筋面積、大腰筋体積、膈レベルの多裂筋と皮下脂肪の CT 値を測定し、大腰筋面積より PMI、大腰筋体積より PVI、多裂筋と皮下脂肪の CT 値より IMAC を算出しました。また、筋肉の脂肪化は筋力低下や機能低下と相関する、あるいは非アルコール性脂肪肝炎の重症度と相関すると報告されていることから 40keV 仮想単色 X 線画像上の肝臓の MI-CT 値を測定しました。これらの調査項目に対して InBody の骨格筋量より求めた SMI との相関を検討しました。

【結果】PMI と PVI は SMI との相関を認めました。IMAC と MI-CT 値は SMI との相関を認めませんでした。

【考察】PMI や PVI は SMI と一定の相関があることが分かりました。また、PVI の方が PMI よりも SMI と強い相関があったことから、体積を用いた測定の方がより正確に SMI の値を反映していると考えられます。IMAC や MI-CT 値と SMI との間に相関は得られませんでした。SMI は骨格筋量指数である為、筋肉の質のみの評価を仮定した IMAC や MI-CT 値とは相関が認められなかったと考えられます。SMI のみではなく、サルコペニア診断に用いる握力や歩行速度なども加味して検討することを今後の課題としたいです。

画像診断センター 診療放射線技師 中尾 健人

第107回 INARS九州プロバイダーコース 第16回 INARS指導者養成コース in 人吉医療センター

2022年11月23日（水）に、INARSプロバイダーコースと指導者養成コースが当院で開催されました。本コースの目的は、「心停止を回避する」が主眼にあり、そのために実技を通して、患者の「評価」「認識」「行動」を繰り返す体系的アプローチをチームで学んでいきます。今回は外部の医療施設の方も参加され、久しぶりに交流の場ができ、有意義なコース開催となりました。



受講生の声

インストラクターの導きの中、コースシナリオを通じてABCDの項目を一つ一つ丁寧に繰り返し評価することで潜在する酸素循環の破綻を見落とすことなく情報収集することができました。また、チーム力を高めるためには口述し共有することが大切であることを学びました。看護師は患者の状態悪化の第一発見者となる可能性が高く、その対応能力の向上は患者の救命につながるため、今回の研修はとても意義あるものでした。この研修内容を今後の看護に活かしたいと思います。

人吉医療センター 7階病棟 鶴田 佳代

前回受講したプロバイダーコースから4年ほど経過していたため、インストラクターとしてよりも、まずはプロバイダーの時の知識を丁寧に確認しました。人に伝える力～インストラクションによって相手にきちんと響いているか、相手の表情を見て「伝わっているな」というのを感じられるように意識して受講に臨みました。しかし、実際の受講ではその様な余裕はなく、伝えることの難しさ、自分の持っている知識を咀嚼して相手に伝える難しさを改めて感じました。今回のワークショップでのスキルを身につけて、看護の質を保ち、患者さんが安全安心に入院生活が送れるよう努めていきたいと思っています。

堤病院 永松 千明



認定看護師会研修会

「最新！認定看護師のちょっとためになる話♥」を終えて

11月19日に当院の3階講堂において認定看護師会研修会を行い、3施設より8名にご参加いただきました。体験学習は授業を聞くだけでなく、みずから考え積極的に授業運営に参加していくことで、確かな学習効果を得られる手法とされています。アンケート結果にも、「久しぶりの対面での研修ありがとうございました」と新鮮な気持ちで受講されただけでなく、創処置の方法の体験を、明日から活用できる学びとして多くの方が返答されていたことから、体験学習の学習効果の高さを再認識いたしました。今回の研修会は、救急看護「患者観察の体系的アプローチ」、糖尿病看護「糖尿病の概要、セルフケア、血糖パターンマネジメント」、皮膚・排泄ケア「創傷ケア」、クリティカルケア「状態悪化時の報告方法」を午前中の短時間にポイントを絞って行ったことで、「有意義だった」という評価を頂きました。研修内容を含め、研修の在り方を考える良い機会となりました。今後の研修希望も頂きましたので、テーマによっては今後も集合教育での体験学習を検討したいと思います。関連病院・施設の医療者の皆様にもご参加いただきますと幸いです。今後とも認定看護師会をよろしくお願いいたします。

診療看護師 財部しのぶ



【糖尿病の患者さんへ】X線撮影・CT・MRI 検査前にお知らせください

X線撮影・CT・MRI 検査を実施される前に、各診療科外来、病棟、画像診断センターでインスリンポンプ・持続グルコース測定器を使用中であることをお知らせください。

(理由) インスリンポンプ・持続グルコース測定器は放射線ならびに磁気の影響を受ける可能性があります。

新製品の導入などにより、インスリンポンプ (CSII) 並びに持続グルコース測定器 (CGM・FGM) を使用する患者数は年々増加しており、それに伴い、CSII・CGM・FGM を使用中の患者が X 線、CT、MRI などの検査を受ける機会も増加しています。患者さんには機器導入時に医療機関から取り扱いに関する注意事項の説明がありますが、検査時に適切な取り扱いがなされなかったために不具合が生じたとの報告もあります。

参照：公益社団法人 日本糖尿病協会 X 線・CT・MRI 検査対応パンフレット

ある患者さんの一言

「血糖の器械に放射線が当たらないように腕を上げていけばいいからとかかりつけ病院では、いつも腕を上げて撮影してました。」

インスリンポンプ・持続グルコース測定器 取り扱いメーカーに確認しました。
『現段階では、放射線等が直接当たらない部位に装着したまま撮影すると、測定器に影響がないとは立証されていないため、必ず取り外してください。』



医療安全管理室 城本 真由美

小児虐待対応プログラム (BEAMS) 研修

12月5日(月)遠隔講義にて小児虐待対応プログラム (BEAMS) のSTAGE1を受講しました。

BEAMSにはSTAGE1～3があり、STAGE1はすべての医療者が修めておくべき事項とされています。

講義では、虐待対応の歴史、虐待の分類、虐待された小児の発達への影響、虐待に気づく方法、虐待が疑われる患者への対応等様々な虐待対応のことについて学ぶ機会を得ることができました。

特に自分の印象に残ったことは、養育者が子供の病気を偽ったり、誘発し不必要な検査等の子供に有害となり得る医療を行わせるMCA (medical child abuse) という虐待の種類があるということです。医療者が虐待に気づかな

いだけでは無く、その虐待に加担してしまう可能性があるということは今後、頭の片隅には必ず入れておかねばならないと感じました。限られた時間の中での講義ではありましたが、非常に有意義な時間となりました。

このような機会をいただけたことに感謝し、今後も研鑽を積んでいければと思います。

臨床研修医 大河原 有真



いい看取りの日はいい未来の日です。

多くの医療機関で患者さんがお亡くなりになると、正面玄関ではなく人目に付きにくい出口からそっとお見送りすると思いますが、何かのテレビ番組で、今まで精一杯生きてこられた方をねぎらい、高齢者施設の職員や多くの利用者でご遺体を囲み、お亡くなりになられた利用者を正面玄関からお見送りされている場面を観たことがあります。

ドラマティックに編集されていたとは思いますが、その施設では、生の延長として死があり、死は隠したり、避けたりするものではなく、自然なものであることとして受け止める環境が作られていました。

11月30日は、人生会議の日、いい看取りの日とされていますが、同時にいい未来の日とも呼ばれています。

人吉医療センターでは、皆さんがよい未来に向け、人生会議を家族でおこない、最後の時までどう生きたいのかを意思表示してもらうよう、ACP (アドバンスケアプランニング) を奨励しています。11月30日には、外来の一角

にブースを設け、普及啓発のミニイベントを開催しました。

大事な家族の命に関わる医療行為を選択するのは辛いことです。自分で自分の人生をプロデュースする、意思表示を明確にしておくことで、ご家族の精神的な負担を軽減することができます。

住民教育活動の一環として、様々な医療・保健・福祉の分野において地域のデイサロンや研修会に人吉医療センターの職員が出向く出前講座を開催しています。

今年も数カ所の市町村に出向き、短い時間でのACPの説明から、基礎から学ぶACP講座まで、ご要望に添ったACP普及啓発活動を行うことができました。

来年も引き続き、ACP出前講座受け付けております。是非、ご連絡ください!!

出前講座お問い合わせ：人吉医療センター 医療福祉連携室
0966-22-2191 (内線 240)

上手な医療のかかり方

皆様、かかりつけ医をおもちでしょうか？

日頃から生活習慣に気を配り、病院にかからないことが一番ではありますが、体調の変化に気付いた場合、早めの受診を行い、重症化を防ぐ意識をもつことは健康管理において大切な心掛けです。

初めて病院を受診される際、これまでの健康状態や過去の病歴などについて問診を受けてからの診療となります。これは、病気の診断には主症状だけではなく、生活習慣・生活背景、病歴などが大きく関わっている場合もあるからです。

かかりつけ医をもつメリットとしては、

- ① 日頃から気軽に健康相談ができる
- ② 健康状態の経過を医師と共有できることで些細な変化に気付くことができる
- ③ 必要な時は専門の医師・医療機関を紹介してくれる等です。

高度・専門病院に初めて受診する場合は、初期の治療は地域の医院・診療所で、高度・専門医療は病院(200床以上)

でという医療機能分担推進のため、初診料等の診療費とは別に「選定療養費」が生じる場合があります。当院においても同様に、紹介状がない場合「選定療養費」として7000円が必要となります。(時間外、休日受診時においても同様)

かかりつけ医をもつということは、健康管理において心強いサポートを受けられるだけでなく、必要に応じて専門機関をスムーズに受診することも可能となります。ご自身だけではなく、ご家族の健康を守るためにも、かかりつけ医をもつということは、とても大切なことではないでしょうか。

☆みんなの医療を守るために☆

夜間や休日診療は重篤な急患のためにあります。緊急性もしくは重篤な病状でない方におかれましては、平日診療時間内に相談受診をしていただきますよう、医療機関の適正利用につきまして、ご理解とご協力を今後とも宜しくお願い致します。



医療福祉連携室 野々上 真一

特別臨床実習 (地域医療)

人吉医療センターで3週間、地域実習をさせて頂きました。人吉医療センターでは、特に地域の医療を支えている事を改めて実感しました。

人吉での実習は、大学では出来ないような事を体験させて頂きました。また、五木村では初めて診療所に行き、医師の少ない地域における医療の在り方について学ぶことが出来ました。訪問看護では、様々な病気を抱えた患者さんやそのご家族とお話をする事で、在宅医療の重要性を感じました。とても楽しく、また勉強になり、人吉医療センターの実習で経験したことを、今後に活かしていけるような実習でした。

全てのスタッフの方々が非常に優しく接して下さいました。特に、挨拶を徹底している事には、少し驚きを感じま

した。大学では、学生に対して挨拶をされるスタッフの方が少ない事に対して、人吉医療センターでは、全てのスタッフの方が挨拶をされるのを見て、本当に良い雰囲気病院だと感じました。また、研修医の先生方や学生担当の先生方が、昼夜問わず、自分達を気にかけて下さり、非常に助かり、また、楽しく人吉で生活を送る事が出来ました。

3週間、楽しく、あっという間でした。先生方、スタッフの方々に心より感謝申し上げます。

熊本大学医学部医学科 5年 川野 太一郎



クリニカルクラークシップにおける地域医療実習として、人吉医療センターにて実習をさせて頂きました。実習先の選択肢としては他にも何か所か挙げられていましたが、大学から離れた場所で地域医療の中核を担う施設で見識を深めたいと考え、人吉医療センターにて実習をすることを希望いたしました。これまでの大学内で完結する実習とは異なり、初めて学外で長期間にわたって実習をするということで、期待と不安で胸がいっぱいでしたが、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今回の実習では回診・外来陪席・救急外来実習・訪問診療・五木村診療所実習など院内と院外の様々な場所で勉強することができ、振り返ってみれば本当にあっという間の3週間でした。実習もただ見学するだけではなく、回診での患者さんへの声掛けや外来患者の診察、多数の手技などを実際に行うことができました。主体的に動くことができたことで、自分のなりた医師像や地域医療と将来的にど

のように関わっていきたいかを深く考えることのできるよいきっかけになったと思います。

実習が終わった後やお休みの日には、人吉の美味しいお店に連れていっていただいたり、温泉に入らせていただいたり、五木のお祭りに誘っていただいたりと、実習時間以外でも非常に充実した時間を過ごすことができました。人吉球磨地方に今まで訪れたことはありませんでしたが、今回の実習で人吉が大好きになりました。改めてこのような素晴らしい場所で実習ができて本当に良かったです。実習中に関わったすべての方に心より感謝します。

熊本大学医学部医学科 5年 宮尾 賢輝



仕事の合間に 出来る 肩こり対策

職場では、座りっぱなしや立ちっぱなしで首こり肩こりを訴える人がたくさんいます。姿勢も関係しますが、手の感覚センサーが働かなくなり、正常な感覚入力ができない事で、肩こりを起こしている事があります。それにより自律神経が乱れ、寝ても熟睡感がなかったり、イライラやコミュニケーションが上手くいかなかったりします。今回は、手の感覚センサーのリセット方法と肩こり対策の簡単なストレッチの紹介です。

手の感覚センサーのリセット方法

舟状骨は親指側の付け根の骨で、周囲には神経や動静脈などとともに、感覚センサーが集まっています。仕事でパソコンやスマホを長く見ている中で、姿勢が悪かったり力を入れすぎたりすると感覚センサーが働かなくなり、手からの入力情報が誤って脳に入り、筋肉が過度に緊張したり、入らなければならないときに力が入らない事になります。

親指を開くと腱が見えてきます。そこに反対側の親指を当てます。手首線から約1cm上に人差し指を当てます。手首はまっすぐに小指側へ指と腕がまっすぐになるように5回動かします。

指先を軽くつまんでポンと離します。各指3回！



肩周囲のストレッチ

肩を耳に近付けます。上げ下げを3回

肩を前後に肩甲骨を意識して、離す近づけるを3回



肩の前回し 後ろ回し各3回

首を左右に3回 回します



僧帽筋のストレッチ

左手を後ろに回します。

肩をできるだけ下げて右手で頭を持ち、右斜め下に引っ張ります。5秒から7秒。左右 各3回。痛気持ちいいくらいにしましょう。



問い合わせは

リハビリテーションセンター（内線743）
塚島（内線682）まで

パソコン見ながら…
スタッフと話しながら…
やってみましょう！！

病院コンビニ 年末年始営業時間変更のご案内

平素、売店をご利用いただき誠にありがとうございます。さて、年末年始ですが誠に申し訳ございませんが、12月29日～1月3日に短縮営業と休業をさせていただきます。来年も引き続きご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

	営業時間	備考
12月28日（火）	7:00 ～ 20:00	通常営業
12月29日（水）	9:00 ～ 15:00	短縮
12月30日（木）	10:00 ～ 14:00	短縮
12月31日（金）	休業日	
1月1日（土）	休業日	
1月2日（日）	10:00 ～ 14:00	短縮
1月3日（月）	10:00 ～ 14:00	短縮
1月4日（火）	7:00 ～ 20:00	通常営業

新 任 紹 介



平田 すずか（医事課・医師事務作業補助員）

趣味：プロ野球観戦、合唱、韓国映画鑑賞

好きな言葉：「一期一会」「かすかでも確実に前進」

自分の性格：一度ハマるととことん追求する

自分のコマーシャル：約8年ぶりに地元で働きます。謙虚な心を忘れず、毎日少しずつでも成長できるよう邁進します。どうぞよろしくお願い致します。

盲導犬協会募金のお礼とご報告

当院では昨年、患者図書室と2階会計窓口で盲導犬育成のための募金箱を設置いたしました。皆様のご理解とご協力により10,000円の募金が集まり、全国盲導犬施設連合会に送らせて頂きました。誠にありがとうございました。当院では引き続き募金箱を設置しておりますので、今後ご協力いただきますようお願いいたします。



追 悼

日本一のゴルフエージシュート（自分の年齢以下の打数でラウンドする）大会記録保持者でした、大正12年12月1日生まれの植杉乾蔵さんが、99歳の誕生日にご逝去されました。

栄養管理やメンタルケアなど、奥様の千枝子さんの全面的なサポートもあり、退職後は二人三脚でゴルフを楽しんでおられました。2021年12月号の当院広報誌でも、健康の秘訣について掲載させていただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。



職 員 情 報

たかさご

甲斐 彩夏（旧姓：芝田）

E-mail URL

